



5 強みを活かした産業力の強化

〈方針〉本市のもつ強みを最大限に活かし、多様な made in 防府（ひと・もの・サービス）を創出するとともに、産業基盤の強化を図ることで、本市の豊かさの源となる産業の更なる活性化を図ります。

（1）「農林業の知と技の拠点」の形成を契機とした農林業の活性化

① 新規就農者などの担い手を確保・育成します。

- ☞ 「農林業の知と技の拠点」やJ A山口県などと連携し新規就農者を確保・育成します。
- ☞ 担い手の定着に向けた農業者の所得向上及び安定経営への総合的支援を行います。
- ☞ 新規就農者などの受け皿となる集落営農法人や連合体などの設立を支援します。

県農業試験場や林業指導センターが農業大学校に移転・統合し、令和5年4月（予定）に「農林業の知と技の拠点」完成

≪コンセプト≫

- ・新技術開発の活性化
- ・想像力と実践力豊かな人材の育成
- ・新しい連携・交流

「農林業の知と技の拠点」イメージ図

② 農業者の経営基盤を強化します。

- ☞ 「農林業の知と技の拠点」で生み出される研究成果や新技術の効果的な普及を促進します。
- ☞ ICT（情報通信技術）を活用したスマート農業などの導入による農業生産の効率化や省力化を支援します。
- ☞ 農地中間管理機構などと連携し、認定農業者などへの農地の集積及び集約化を促進します。

農地集約のイメージ

分散・錯綜した農地利用 → 担い手ごとに集約化

コストの削減！効率化！

新技術の普及

直進アシスト田植え機やドローンによる農薬散布の操作研修

③ 農業を支える生産基盤を整備します。

- ☞ 農作物輸送の効率化、地域農業の振興及び災害時における避難道としての機能を併せ持つ農道牟礼小野線の整備を促進します。
- ☞ 農地の集積による生産条件の改善と生産効率の向上を図るほ場整備を推進します。
- ☞ 農業・農村の有する多面的機能(*1)を維持・発揮するため、日本型直接支払制度(*2)を普及・促進します。
- ☞ 農業用水を安定的に確保するため、ため池の改修などを実施します。

農道牟礼小野線 計画図

全体延長 6,100m
整備促進区間 3,100m

「農林業の知と技の拠点」整備予定地

ほ場整備

ほ場整備が進められている地区（台道・下津令）

ほ場整備が予定されている地区（小野・奈美）

イメージ

④ 森林を未来につなぐ取組を推進します。

- ☞ 森林環境譲与税などを活用して実施する、繁茂竹林の伐採などにより、里山を整備します。
- ☞ 山口県産木材を用いた木製玩具（積み木）を幼児へ贈呈することにより、木育を進めます。

写真
（繁茂竹林整備の様子）

幼児への積み木の贈呈

スケジュール

| 項目 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 |
|------------------|------|------|--------------|-----|-----|--------|
| 〈台道・下津令〉 | 整備促進 | 完成予定 | | | | |
| ほ場整備【県】 | | | 整備促進 | | | 完成予定 |
| 〈小野・奈美〉 | | | 文化財試掘調査・地元調整 | | | |
| 〈上右田〉 | | | | | | |
| 農道牟礼小野線の整備【県】 | | | 整備促進 | | | 供用開始予定 |
| 農林業の知と技の拠点の整備【県】 | | 整備促進 | 供用開始予定 | | | |

*1 多面的機能 生物多様性の保全、土砂災害防止、水源かん養など多くの機能を有すること。

*2 日本型直接支払制度 地域の共同活動、中山間地域などにおける農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する制度。

4 産業・労働

- (1) 農林水産業の振興
- (2) 商工業・サービス業の振興
- (3) 中小企業の振興
- (4) 労働環境の向上



(1) 農林水産業の振興

〈方針〉豊かな市民生活を支える農林水産業の持続的な発展を図るため、山口県「農林業の知と技の拠点」の形成や、水産市場エリアの整備を契機とした農林水産業の活性化の取組を進めるとともに、農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮を図ります。

① 担い手の確保・育成

県、JA山口県及び山口県漁協などと連携し、新規就業者や法人経営体の確保・育成に努めます。

- [主な取組]
- ・「農林業の知と技の拠点」やJA山口県などと連携した新規就業者の確保や自立支援
 - ・担い手の定着に向けた農業者の所得向上及び安定経営への総合的支援
 - ・雇用の受け皿となる集落営農法人(*1)などの設立支援
 - ・山口県漁協などと連携した新規漁業就業者の確保や自立支援

② 農林水産物の需要拡大

地元農林水産物のブランド化やPR、市場の活性化に努めます。

- [主な取組]
- ・地元農林水産物のブランド化や、消費者団体などと連携した地産地消の推進
 - ・6次産業化(*2)や農商工連携の促進
 - ・道の駅「潮彩市場防府」の魅力向上に向けた施設の衛生化をはじめとする機能強化
 - ・水産流通の活性化に向けた水産市場の機能強化支援
 - ・市場関係者と連携した青果市場の活性化

③ 経営基盤の強化

農林水産業者の新技術の導入などを支援し、経営の安定を図ります。

- [主な取組]
- ・「農林業の知と技の拠点」で生み出される研究成果や新技術の効果的な普及促進
 - ・スマート農業(*3)などの導入による効率化や省力化の支援
 - ・農機具や漁船などの導入、施設整備に対する支援
 - ・農地中間管理機構などと連携した認定農業者などへの農地の集積及び集約化の促進

④ 生産基盤の整備

農林水産業の生産性の向上を図るとともに、地域の保全活動を支援します。

- [主な取組]
- ・農道牟礼小野線の早期開通に向けた整備の促進
 - ・生産効率向上に向けたほ場整備(*4)の推進
 - ・農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するための日本型直接支払制度(*5)の普及促進
 - ・ため池の改修などによる農業用水の安定的な確保
 - ・防府市有害鳥獣捕獲対策協議会などと連携した有害鳥獣被害防止対策の推進
 - ・森林環境譲与税などを活用して実施する繁茂竹林の伐採などによる里山の整備
 - ・種苗放流(*6)や漁場環境整備などによる水産資源の維持・増大
 - ・道幅の狭い道路や水路の整備などによる漁村の生活環境の改善

- *1 集落営農法人 一定の地域内の農家が、営農活動を共同して行うために法人化した組織。
- *2 6次産業化 農林漁業者が、自ら加工や流通に取り組み、経営の多角化を進めることで所得の向上を目指すこと。
- *3 スマート農業 AI（人工知能）、ICT（情報通信技術）などの先端技術を活用し、作業の超省力化や生産性の向上を図る農業のこと。
- *4 ほ場整備 農作業の効率化を促進するために実施する農地の区画整理。
- *5 日本型直接支払制度 地域の共同活動、中山間地域などにおける農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する制度。
- *6 種苗放流 キジハタ、クルマエビなどの稚魚を漁場に放流すること。



本市で活躍する新規就農者



水産市場（セリの様子）